



誰かに見守られて

先日、ネットで Yahoo ニュースに取り上げられていた記事を紹介します。

埼玉県西川口で58年間営業を続けてきた「魚勝」という魚屋さんが2月16日をもって閉店することになりました。新鮮さと価格で勝負してきた街の魚屋さんで、魚屋さんというより刺身屋さんとして親しまれ、行列が出来る店であったようです。閉店のお知らせの張り紙が貼りだされてから2日後に、張り紙の横に次のような返事が貼りだされていました。

魚勝 様

知っていますよ刺身の味を

百名以上並んで買った思い出も

包丁一筋半世紀

旦那が病に何度か伏しても立ち上がり包丁を又握ってくださった

魚勝の刺身は私共庶民の幸せな味でした

店が閉じられてとても悲しいです

明日も元気な夫婦 魚勝の声が聞こえてき
そうな未練です

長い間の感謝に心をこめて

ありがとうございました

たぶん、長年にわたって「魚勝」に通われたお客さんの中のお一人が、感謝の気持ちを伝えようと書かれたものだと思います。文面から、このお店がいかに誠実な仕事をしてきたのかが分かります。その誠実な仕事が「ごひいき」にしてくださるたくさんのお客さんを生み、そのお客さんが行列を作るまでになり、閉店に際してはたくさんのごひいきに惜しまれるお店に育ったのです。

「人は一人では立たず」という言葉がありますが、このお店はまさにごひいきに支えられた店なのだと思います。しかし、そのごひいきが生まれたのは、このお店の誠実な仕事にあることは間違いありません。仕事ぶりを目の当たりにしてごひいきが生まれていったのです。

「誰かが必ず見ている」だれも見っていないようで、無関心なようで、でも私たちの仕事はだれかにも必ず見守られています。仕事だけでなく生活ぶりも見守られています。その中で誠実であることが自分を応援してくれる、支えてくれるごひいきを生むのです。今の自分の仕事や生き方は誰かにもどこかで必ず見守られています。こどもたちにも「ごひいき」に支えられる生き方をしてほしいと思います。

【湯梨浜家族の日 標語コンクール】

小学生高学年の部 最優秀賞 6年 武田 奈々

「おはようと 一日始まる 家族の輪」

優秀賞 4年 香川 心來

「ただいまと家に帰るといいにおい 急いで私も手伝うよ」

家族の絆がよく表現された標語でした。おめでとうございます。 羽合小学校 寺谷英則